

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>すけしちにしいちぼせん</small> 助七西市場線					
事業箇所	清須市 <small>きよす</small> 清洲					
事業のあらまし	<p>(都)助七西市場線は、清須市の北西部から市中心部に至る延長 3.3km の地区幹線道路であり、主要幹線である名古屋第二環状線や鉄道駅への良好なアクセス、災害時の緊急輸送路としての機能を実現するため、重要な路線である。</p> <p>このうち、当該事業区間の現道は幅員の狭い市道であったため円滑な交通が阻害され、周辺道路では渋滞が発生していた。</p> <p>このため、「交通円滑化」を主な目的として、バイパス整備を実施したものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①交通円滑化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	7.5 億円		■工事費 0.6 億円、■用補費 5.6 億円、■その他 1.3 億円			
事業期間	採択年度	平成 19 年度	着工年度	平成 19 年度	完成年度	平成 24 年度
事業内容	バイパス整備（延長：L=0.14km、車線数：2 車線、幅員：W=16m）（H25 供用）					
II 評価						
① 業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>① 交通円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業区間の整備により、西側隣接区間のピーク時間交通量が 575 台/h から 834 台/h へ増加しており、名古屋第二環状線や鉄道駅へのアクセス道路としての利用が増加した。 ・整備を行った道路が利用されることにより、周辺道路の渋滞の緩和に寄与した。 <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>本事業により、交通円滑化が図られていることから、事業目標は十分に達成している。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>				
III 対応方針（案）						
今後の事後評価の必要性	・事業目標に対して目的を達成しており、今後の事後評価の必要性はない。					
改善措置の必要性	・事業目標に対する効果が十分に発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はない。					
同種事業に反映すべき事項	・標準的な事業計画、工法で施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特にない。					